

企業立地がもたらす効果

人口減少に対応 元気な雇用環境を

地方都市の人口減少が全国的な問題となる中、本市もその例外ではなく、現在の人口約25万人が2040年には20万人を下回ると予測されています。その要因の一つとして、「働き盛りの若い世代の都市圏への流出」が考えられており、このままの状態が続くと地域経済が停滞し、税金などの減少にもつながり、十分なインフラ整備や社会保障が維持できなくなる恐れがあります。

こうした状況を踏まえ、本市では人口減少に歯止めをかけ、「佐世保で働きたい」と思えるような元気な経済・雇用環境をつくるため、新たな雇用と多様な就労の場の創出に力を入れており、「企業立地」を重点施策に掲げ、8つのリーディングプロジェクトの一つとして企業誘致に積極的に取り組んでいます。

年間千件の訪問を継続 16社を誘致

本市の企業誘致活動は、比較的に投資や雇用人数が見込める製造業、オフィス系企業を中心に企業訪問などを行っています。近年では関東や東海地方を中心に年間約千件の訪問活動を行い、優秀な人材や地域の特性などさまざまな佐世保の魅力をアピールし、平成18年から本年11月までに16社の企業誘致に成功しています。また、市内企業の増設・移設の支援にも力を入れており、20社が事業を拡大しています。

立地決定後も操業開始に向けた人材確保支援に力を入れており、市内の高校や大学、ハローワークの関係機関に企業と同行して採用支援を行うなど、企業との信頼関係を築いています。

さらに、市外企業の立地や地元企業の規模拡大の受け皿となる「市営工業団地」の

整備にも取り組んでおり、平成26年4月に分譲開始した「ウエストテクノ佐世保」は約4年半という短期間で完売しました。本年10月には新たに整備した「佐世保相浦工業団地」の分譲を開始し、新たな企業立地に向けて積極的に動き出しています。

「ウエストテクノ佐世保」年間1億9千万円の税込確保

「ウエストテクノ佐世保」には現在、シーヴィテック九州、双葉産業、九州テンの3社が操業しています。これらの企業の立地によって市内には新たに800人の雇用が生まれ、そのうち135人はUJターナーによる市外からの転入となっています。

また、従業員の約1割は「西九州させぼ広域都市圏」の連携市町から通勤しており、本市だけでなく広域都市圏の活性化に

企業を誘致する3大メリット

- 1 地元で新たな雇用が生まれる
- 2 安定した行政サービスを提供できる
- 3 地域の活性化につながる

も貢献しています。

さらに、平成30年度には法人所得に応じた法人市民税、工場や設備に対する固定資産税、従業員の所得に対する個人市民税を合わせると3社合計で年間約1億9千万円の税金を確保することができました。

このように、企業誘致によって雇用の面では新たに働く場を創出し、地元での就職や市外からの転入などによって人口減少に歯止めをかけており、税金の面でも良い効果をもたらしています。

今後もさらに430人の雇用を

近年では、長崎県や長崎県産業振興財団と連携して企業誘致活動を行っています。昨年11月には企業の事業活動をサポートするBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）事業の国内大手企業・トランスコスモス（松川町）が、本年7月には工場自動化（FA）機器の制御設計を行う静岡制御（八幡町）、障がいのある人を雇用し、グループ企業の総務・人事労務業務などを行うアウトソーシングビジネスサービス（白南風町）が立て続けに立地を決定しており、430人の雇用が見込まれています。

本市では、これからも佐世保の魅力を生かしつつ、新たな雇用と多様な就労の場の創出を目指し、さまざまな事業に取り組んでいきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



特集 企業に選ばれるまち 佐世保

新たな雇用と多様な就労の場を創出するため、本市が力を入れて取り組んでいる「企業立地」。昨年12月には市営工業団地「ウエストテクノ佐世保」が約4年半で完売し、市内には新たに3社が立地を決定するなど、多くの企業が立地しています。今回の特集では、そうした企業立地がもたらす効果や企業に選ばれる佐世保の魅力をお知らせするほか、新たに立地決定した企業などを紹介します。

市内に立地した主な企業

(平成26年以降)

市内で増設・移設した企業

| 企業名 | 雇用予定数 | 企業名 | 雇用予定数 |
|------|-------|-----------|-------|
| 九州テン | 107人 | 日本理工医学研究所 | 13人 |
| 八天工業 | 5人 | 湯川王冠 | 19人 |
| フェロー | 6人 | 相浦機械 | 20人 |

市外から新設した企業

| 企業名 | 本社 | 雇用予定数 |
|------------------|-----|-------|
| シーヴィテック九州 | 愛知県 | 320人 |
| 双葉産業 | 大阪府 | 350人 |
| 富双テック | 大阪府 | 20人 |
| パーソルワークスデザイン | 東京都 | 220人 |
| 中村電機工業 | 佐賀県 | 49人 |
| トランスコスモス | 東京都 | 400人 |
| アウトソーシングビジネスサービス | 東京都 | 20人 |
| 静岡制御 | 静岡県 | 10人 |

※雇用予定数はこれまでの実績に今後の予定を加えた数（令和元年11月現在）。



立地企業に佐世保を選んだ理由を伺いました

佐世保は高い安全性と 優れた人材が期待できるまち

シーヴィテック九州 取締役社長 堀越 靖 さん

株式会社シーヴィテック九州

所在地 小佐々町黒石 332-1

生産開始時期 平成 28 年 12 月 従業員数 282 人

―立地の決め手は
弊社では、「高品質なベルト」を「低コスト」で「タイムリー」にお客さまにお届けすることを使命としています。高い品質を維持するためには繊細な技能が必要なため、優れた人材の確保が欠か

―佐世保への立地のきつかけは
弊社ではCVT用金属ベルトの生産量を増やすため、当時の生産拠点だった愛知県、北海道に続く新たな拠点を探していました。立地の条件として、いるなりスワーク回避に備え地震などの災害がなく、安定して製品を供給できる場所を探していました。長崎県と佐世保市は弊社が立地を検討する以前から積極的に誘致活動のため訪問されており、高い安全性と受け入れ先となる工業団地「ウエストテクノ佐世保」が整備されていたことから、本格的に立地を検討することになりました。

―会社概要など
シーヴィテック九州は、自動車に使用される無段変速機(CVT)用金属ベルトを生産している国内唯一の専門メーカーです。CVTとはエンジンの力をタイヤに伝えるトランスミッションの一種です。CVT用金属ベルトには、弊社独自の技術と工夫が凝縮されています。

―これから目指す企業像は
弊社では、ベルトの「環」に掛けて、「和」製、地域や環境との調「和」など「WA」をコンセプトにもつくりを

―佐世保の人材の特長は
弊社では、従業員282人のうち約7割(197人)を地元で採用しています。佐世保の方は団結力が強く、前向きで元気な印象です。仕事では指示がなくても自分たちで考え動きまわし、意見交換も積極的に行っており、大変仕事熱心ですね。また、地元愛が強く、「地元を元気にしたい」という方が多いことにも驚きました。人柄と技術の面で優秀な人材を採用できています。入社後も業務に真摯に取り組み、着実に技術を身に付けており、現場の監督管理者となる従業員も徐々に増えています。

せませんでした。その点、佐世保には工業系の高校や専門学校が多く、毎年たくさんの生徒を輩出していることから、人材の面でも期待を持つことができました。
また、弊社は福岡県や中国などの企業にも製品を供給しており、将来的にアジア市場の開拓も考えているので、交通アクセスの面でも魅力を感じ、佐世保への立地を決めました。



同社が製造するCVT用金属ベルト

行っています。

国内生産にこだわり、品質にさらに磨きをかけるため、社員全員で「カイゼン(改善)」に取り組んでおり、これから企業が成長することで地域にも貢献できると考えています。

また、弊社の従業員のうち約4割(112人)はU・I・ターンによる就職です。地域に根ざす企業となることはもちろん、市外にいる地元愛の強い佐世保の方からも「地元に戻ってこの企業で働きたい」と思っていただけでもうな、元気で明るく楽しい企業を目指していきたいです。

(取材日 10月16日)

企業に選ばれる佐世保の魅力

本市では年間約1,000件の企業訪問活動を行い、多くの企業の立地に成功しています。ここでは全国の自治体から選ばれる佐世保の魅力や立地企業のインタビュー、優秀な人材を輩出する高校を紹介します。

優秀で豊富な人材



市内には工業系の高校・専門学校が4校、商業系の高校が3校あり、若くて優秀な人材が育っています。特に工業系では、合格した国家資格や検定などを点数化して表彰する「ジュニアマイスター顕彰制度」で、平成30年度長崎県は全国第2位(平成29年度は全国第1位)となるなど、高度な専門知識を持つ生徒を多く輩出しています。

ジュニアマイスター顕彰制度認定者数 全国上位30校

- ・佐世保工業高校(平成29・30年度にランクイン)
- ・鹿町工業高校(平成29年度にランクイン)

多様性を受け入れる風土

本市は平成29年に野村総合研究所が選定した全国主要100都市を対象に調査した「成長可能性ランキング」で総合ランキング全国10位と評価されました。この調査では、各都市の産業創発力を6つの視点・131の指標を使って評価し、ビジネス環境だけでなく、暮らしやすさなどを重視して総合的に分析されています。このランキングで本市は12種類のうち4つの部門で10位以内に入っており、「多様性を受け入れる風土」の部門では第3位になるなど、都市の魅力や暮らしやすさなどの点でも高く評価されています。

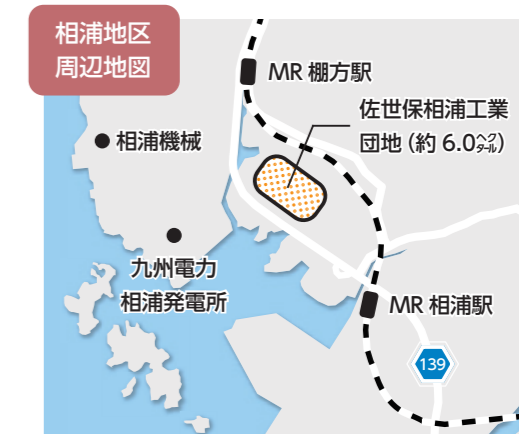
成長可能性の高い都市 総合ランキング

- | | |
|-------------|------------|
| ①東京都特別区 | ⑥つくば市(茨城県) |
| ②福岡市(福岡県) | ⑦札幌市(北海道) |
| ③京都市(京都府) | ⑧松本市(長野県) |
| ④大阪市(大阪府) | ⑨久留米市(福岡県) |
| ⑤鹿児島市(鹿児島県) | ⑩佐世保市(長崎県) |

企業の受け皿「市営工業団地」



新たな製造業の企業を受け入れるため、ウエストテクノ佐世保などの市営工業団地を市内各地に整備しています。10月からは新たに「佐世保相浦工業団地」(相浦町)を分譲開始し、企業が立地しやすい環境を整えています。



安全性の高いまち

過去70年間で震度5以上の地震が1度も観測されておらず、今後30年間に震度6以上の地震が起こる確率が低いとされています。

優れた交通アクセス

日本本土で最も西に位置し、経済成長が著しい東アジア地域と近接しています。また、西九州自動車道の開通によって市内や隣接する他市町への交通アクセスが改善され、将来的には全線開通により福岡までの移動時間が短縮されます。

佐世保商業高校

会計ビジネス、情報マーケティング、国際コミュニケーションの各分野で商業や外国語のスペシャリストを育成する佐世保商業高校。将来の就職や進学を見据えた実践的なキャリア教育や卒業生の進路状況などについて、進路指導の鈴木信雄先生に話を伺いました。



佐世保商業高校では、商業の専門スキルを發揮して地域に貢献できる人材を育てており、学業や部活動を通じて将来に向かって挑戦する心を養っています。卒業後の進路や学びの幅を広げるために高度な資格取得にも力を注いでおり、中には超難関と言われている「日商簿記検定1級」に合格する生徒などもいます。

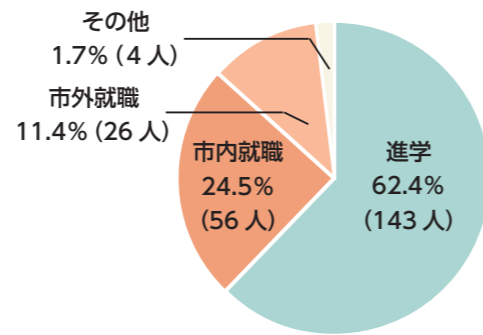
また、就職活動の面でも、校内で県内企業や職業別の説明会を行っており、県内をリードする企業の情報に直接触れたり、就職内定者の生の声をタイムリーに聞いたりして、2年次の早い段階から将来の仕事に対する目的意識をしっかりと持ち、職業選択の幅を広げています。

専門性を身に付ける高い向上心

実は、本校は大学や専門学校などへの進学を希望する生徒が多いんです。入学当初は就職を希望する生徒が多いですが、授業の中で資格などを取得していくうちに、身に付けた探求心や実践でもっと学びたいという向上心が生まれ、昨年は6割以上(143人)が進学しています。本校の生徒たちは1年次からインターンシップに参加するなど、仕事に接する機会が早いので、将来を見据えていち早く自分の特性に気付き、それを伸ばすための就職や進学を目指しています。



商業高校の進路状況 (H31.3月卒業生)



立地企業は新しい選択肢の一つに

昨年卒業した生徒のうち、約3割(56人)が市内に就職しています。初めは県外に目を向けていた生徒も、就職活動をする中で地元企業の良さに気付き、市内に就職しています。私たちとしても生まれ育った故郷に残ってくれることは大変うれしいですし、これから一人一人の将来に対する価値観を大事にしながら、地元企業の良さを伝えていきたいと思います。

また、市内に新しい企業が立地されることは、子どもたちの新しい選択肢の一つになっています。これまでにない職種が増え、事務以外でも商業で学んだ知識を生かせる企業があることを生徒たちもしっかり見えています。新たな可能性として地元雇用が生まれ、地域が活気づくことをうれしく思っています。

(取材日 10月24日)

佐世保工業高校

創立83周年の歴史を誇り、機械・電子機械・電気・電子工学・建築・土木の各分野でプロを育成する佐世保工業高校。ものづくりの第一線で活躍する人材を育てる「佐工版キャリア教育」や卒業生の進路状況などについて、進路指導部の黒木康弘先生に話を伺いました。



佐世保工業高校では、自ら学んだ技術を生かし、人として、プロとして地元の産業を支える人材を育てています。本校では、資格取得などを通じて高い技術・技能を培っており、毎年参加している「高校生ものづくりコンテスト」において、ことしは^{せんぱん}旋盤作業部門で全国大会に出場するなど、実習や実践を通して集中力と自信を身に付けています。

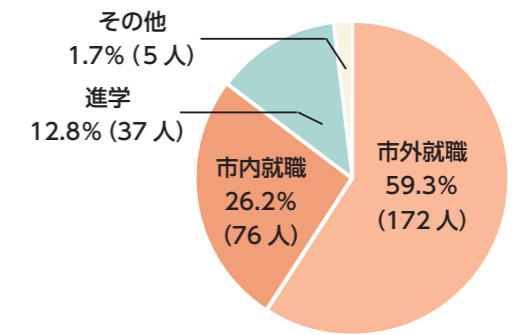
また、卒業後も企業で技術を磨き、「技能五輪全国大会」で入賞している者もあり、本校で学んだ知識や技術がものづくりの第一線で生かされています。

地元企業と連携した人材育成

本校では、地元企業や佐世保商工会議所と連携し、即戦力となる技術・技能の習得に力を入れています。例えば、直接企業を訪問し、地元の優れた技術に触れることで地元企業に対する理解を深めたり、実習前訓練で5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底や危険予知活動など社会人として基本的な習慣を身に付けたりしています。

この他にも、就職内定者を対象とした地元企業での実践的な研修(就業訓練)を行い、生徒たちがすぐに社会で活躍できるように将来を意識した人材育成を行っており、企業からも本校出身の生徒は「優秀で真面目」との高い評価をいただいています。

工業高校(全日・定時制)の進路状況 (H31.3月卒業生)



市外への人材流出を防ぐ企業立地

今はどこも人材不足で、県内外のさまざまな企業から高い関心が寄せられています。生徒たちも自分の適性に合った就職先を見つけるため、先輩に話を聞いたり、応募前企業見学会で事前に現場を確認したりしています。

昨年度の状況を見ると、地元で就職を希望する生徒は当初2割程度でしたが、地元企業を知る機会を増やしたことで約3割に増加しました。学校としても地元に残ってほしいという思いがありますので、企業立地によって市内に働く場所が増え、地元で就職してくれる生徒が増えることはとてもうれしく思います。子どもたちが高校で学んだ技術を生かし、充実した環境で働けることを願っていますし、これからも生徒一人一人の希望に合った就職ができるようにしていきたいと思っています。

(取材日 10月21日)



お客さまからの問い合わせに笑顔で答える中村さん

KDDI エボルバ株式会社 佐世保事業所
所在地 崎岡町2720の8 佐世保情
報産業プラザ内(本社 東京都新宿区)
業務開始時期 平成19年9月
従業員数 431人

いただきました。そうした経験を踏まえ、「今度は私がチームの皆さんをサポートできるようにになりたい」と思い、現在はチーム全体を統括管理する「ユニットリーダー」となり、働いています。

商業高校では、卒業生が在校生に就職のアドバイスをする機会があり、私は単に「事務」といういろいろな職種があることや、学校で学んだ知識を生かせる仕事がたくさんあることを後輩たちに伝えました。これから就職する皆さんには、今だけしかできないことを楽しみながら資格や検定など自分の興味のあることにどんどん挑戦してほしいと思います。

(取材日 10月23日)

「興味があることを仕事にして、地元で働きたい」。強い地元愛を胸に、暮らしやすく住み慣れた佐世保での就職を希望し、平成26年から弊社でコールセンターの仕事をしています。

私は、当センターで携帯電話の料金プランの見直しや各種手続きなど、お客さまからの問い合わせに電話で答える業務を行っています。

母校・佐世保商業高校では、簿記や情報処理だけでなく、将来の社会人としての基本的な姿勢も教わり、それが料金計算やパソコン操作、お客さまへの言葉遣いなど、今の仕事のいろんなところに生かされていると実感しています。

入社当初は分からないことが多く苦労しましたが、新人オペレーターをサポートするチューターや先輩たちに支えて



高校で学んだ
知識を生かせる仕事
KDDI エボルバ
ユニットリーダー 中村 陽子さん

卒業生に話を伺いました!

地域限定社員など

希望に合った働き方を

トランスコスモス BPOセンター佐世保

副責任者 山本 芳嗣 さん



トランスコスモスでは、お客さま企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界30の国と地域、167の拠点で展開しています。

当センターは、その中でもBPOという企業の業務プロセス、例えば社員の入退社に伴う人事処理や経費処理、商品の販売に伴う受発注処理など、企業がビジネスを行う上で欠かせない業務プロセスをお預かりするサービスを提供しています。人材不足が叫ばれる昨今、業務を代行し、最適化するBPOサービスは非常に注目されています。

開設して約1年ですが、業務は順調で約230人が勤務しており、3年後には約400人の雇用を目指しています。

当センターでは、希望に合った働き方ができるように、勤務地を佐世保に限定した地域限定社員や短時間勤務が可能なショートタイムなどを導入している理由の一つだと感じています。

また、佐世保の方は真面目で忍耐強く、とても優秀だと身にしみて感じています。安定したセンター運営ができており、佐世保でのセンター開設は間違いなかったと実感しています。

弊社の事業の原点は「people&technology」の人と技術を「仕組み」で融合し、価値の高いサービスの提供を実現することです。これからも地元根付いた取り組みを行い、「佐世保のトランスコスモス」として地域の皆さんと共に歩んでいけるように努めていきたいと思っています。

(取材日 10月24日)

BPO サービス事業 (人事・経理等の事務業務)
トランスコスモス株式会社 BPOセンター佐世保
所在地 松川町 1-19 (本社 東京都渋谷区)
業務開始時期 平成 31 年 1 月 従業員数 230 人



開所式に出席する(左から)内村上席常務、中村真知事、船津会長、朝長市長

達成感ややりがいを

感じられる職場に

静岡制御 代表取締役 海野 一人 さん



静岡制御では、工場自動化 (FA) 機器の販売や制御盤の設計製作を行っており、製造部門の強化を図るため、この度設計業務を担う「長崎技術センター」を佐世保に開設することに決めました。

近年、少子高齢化の影響で物が売れなくなっています。市場は国内から海外に向けられ、人材の確保が難しくなる中、自動車をはじめ、あらゆる産業で工場の自動化が進んでおり、このFAシステムが導入されています。本社ではこれらFA機器の設計から部品調達、製作までを自社工場で一貫して生産しており、現在多くの企業のものづくりを縁の下で支えています。

高い技術力と提案力が自慢の弊社は、他社に比べ業務の制約が少ないことも特長の一つです。従業員一人一人がどうすればいいかを自分たちで考えて仕事を進めるため、達成感ややりがいを感じながら働いています。また、毎週勉強会などを開き、技術力

や販売力を強化したり、従業員の意識向上に努めたりして、お客さまのどんな要望にもお応えできるように、人材育成にも力を入れています。

良い製品をつくるには、優秀な人材の確保が必要不可欠です。その点、佐世保は工業系の高校や専門学校が多く、人柄も良いため、人材面で大きな期待が持て、今回の立地の決め手にもなりました。特に長崎県は県外就職する人が多いため、子どもたちが地元に残って働きたいと思える場所をつくることできれば、佐世保の皆さんにも喜んでもらえるのではないかと思います。

今後は、これまで培ってきた強みを生かし、行政と連携しながら、佐世保の皆さんがここで働きたいと思っただけのセンターにしていきたいです。

(取材日 9月27日)

FA 機器販売や制御盤の設計製作
株式会社静岡制御 長崎システム技術センター
所在地 八幡町 3-4 (本社 静岡県静岡市)
業務開始時期 令和 2 年 4 月 (予定) 従業員数 10 人



調印式で中村真知事、朝長市長に製品の説明を行う海野代表取締役(右)

限定正社員制度など

障がいの特性に応じた制度を

アウトソーシングビジネスサービスソリューション グループマネージャー 鳩野 真也 さん



アウトソーシングビジネスサービスでは、身体や精神に障がいのある人を積極的に雇用し、グループ会社の総務事務支援や人事労務業務などを行っています。

従業員の9割以上はなんらかの障がいがありますが、「企業は従業員自らの力で成長させていくもの」という考えの下、一人一人が自分の力を発揮できるように働きやすい環境づくりをしています。

例えば、障がいの特性に合わせたフレックスタイム制や在宅勤務、短時間勤務でも正社員と同じ待遇を受けられる限定正社員制度を導入するなど、いろいろな働き方に対応しています。

また、佐世保ランチでは、JR佐世保駅に隣接するビルで業務を行っており、郊外からの交通アクセスが便利で、通勤環境も優れています。

さらに、従業員とは別に障がいのある人が働きやすいように職場内外の支援環境を整えるジョブコーチや保健師がおり、特に精神保健福祉士を事業所ごとに配置して身体面・精神面のケアも行っています。この他にも社員の定着を目指した支援を行うなど、今後もより多くの皆さんが自立して働ける機会を増やしていきたいと考えています。

今後、佐世保ランチでは、市内の企業や公的機関と連携し、佐世保でしかできない仕事をやっていきたいと考えています。佐世保は他の自治体と比べて障がい者雇用を理解を示していただきましたし、市やハローワークなど公的機関の支援体制も整っており、これらが立地の決め手にもなっています。

これからより多くの方に弊社のことを知っていただき、皆さんと一緒に新しいことに挑戦していきたいと思っています。

(取材日 10月8日)

総務業務 (障がい者雇用に特別に配慮した特例子会社)
株式会社アウトソーシングビジネスサービス 佐世保ランチ
所在地 白南風町 1-13 (本社 東京都千代田区)
業務開始時期 令和元年 10 月 従業員数 20 人 (全て障がい者)



協定書を手にする眞鍋社長(左)と朝長市長